

三条商工会議所景況調査概況

【2020年1月～3月期】

日本商工会議所が全国の商工会議所ネットワークを活用して、各地域での「肌で感じる景況感」（早期景気観測調査＜LOBO調査＞）を毎月集計した2020年3月の結果と、三条商工会議所で3ヶ月毎に会員事業所にアンケート調査を行った最近の業況をまとめた資料です。

- 調査対象：＜全国＞全国335商工会議所が2,630企業にヒアリング。回答数2,037件
＜三条地域＞会議所会員事業所400社を対象にアンケート調査。回答数266件
- DI値＝（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）
従業員DIは（不足とする回答割合）－（過剰とする回答割合）

【全国の業況】

3月の全産業合計の業況DIは、▲49.0（前月比▲16.4ポイント）

新型コロナウイルス流行の影響により、インバウンドを含む観光需要の減少に加え、外出の自粛や消費マインドの低下、イベントの中止等に伴う相次ぐキャンセルにより、客足が激減した宿泊業や飲食業、観光関連業を中心とするサービス業や小売業の業況感が大幅に悪化した。また、サプライチェーンの混乱や部品、資材等の調達難による生産活動への影響も続いており、新型コロナウイルスの世界的な流行による世界経済の先行き不透明感が広く業況の押し下げ要因となっており、中小企業の景況感は1989年4月調査開始以来、過去最大の悪化幅（※）を記録した（※これまでは、2011年4月時の▲11.8ポイント）。

先行き見通しDIは、▲56.5（今月比▲7.5ポイント）

世界的な新型コロナウイルスの流行拡大に伴うインバウンドを含む観光需要の減少やサプライチェーン・生産活動への影響に加え、消費マインドの低迷、消費税率引上げ、人手不足による人件費の上昇、原材料費の上昇、コスト増加分の価格転嫁の遅れ、世界経済の動向など不透明感が増す中、中小企業の業況感は2011年6月以来のマイナス50台が見込まれる厳しい状況。

全国の3月産業別業況

【建設業】

「工事現場で働く社員や作業員が新型コロナウイルスに感染することを最も懸念している。感染者が出れば工事を中断せざるを得ず、工期が延びればその分のコスト増の影響も大きい。手洗いやうがいを徹底するようにしているが、現場は濃厚接触に近い状態での作業もあり、不安感は拭えない」（一般工事業）、「新型コロナウイルス流行の影響に伴う生産・物流の混乱により、中国で生産されていたシステムキッチンや洗面化粧台、トイレ、ユニットバス等の住宅設備機器の納品に遅れが出ている。竣工時期に影響を及ぼす可能性があり、なんとか調達できないか試行錯誤を続けている」（管工事業）

【製造業】

「米中貿易摩擦の影響により受注が減少していたが、新型コロナウイルスの流行が追い打ちとなり、売上の減少が続いている。各国で入国制限が始まり、原材料の調達やコスト増への影響は必至。また、中国向け製品の更なる売上減少は避けられず、不安材料が多い」（計量器測定器等製造業）、「物産展等の催事やイベントの中止により3月の売上が激減し、ほぼゼロとなった。今後の見通しが全く立たず、資金面での不安が大きい」（食料品製造業）

【卸売業】

「中国で生産されている資材が入荷せず、売上・採算ともに大きく悪化した。諸外国の入国規制により海外出張が難しくなり、業務に大きな支障が出ている。景気の悪化により取引先の倒産等が起きないか、懸念している」（建築材料卸売業）、「給食や旅館、外食産業からの引き合いが減少し、市場価格が月を追うごとに下落し続けており、売上が激減している。予想以上の落ち込みであり、今後の状況次第では資金繰りにも影響が及ぶ」（農畜産水産物卸売業）

【小売業】

「新型コロナウイルス流行の影響により、食料品のまとめ買い傾向が見られたものの、外出を控える動きの広がりを受けた客数減少や営業時間の短縮により、生鮮類を中心に売上は落ち込み、全体の売上は2割減少した。資金繰りが非常に厳しくなっており、長期化すれば倒産もありうる」（スーパー）、「各種イベントの中止や延期により催事関係の受注が無くなり、売上・採算ともに悪化した一方、自宅用の生花の需要が若干伸びている」（花・植木小売業）

【サービス業】

「歓送迎会や謝恩会のシーズンを迎え繁忙期のはずが、宴会や披露宴、各種イベント、会議などのキャンセルが相次ぎ、売上は前年比3割程度にまで落ち込んでいる。予約状況に応じた営業時間の短縮や社員の残業の抑制によりコスト減に努めているが、流行が長期化すれば経営悪化は避けられない」（飲食業）、「団体の宿泊客や宴会の予約の9割がキャンセルされ、例年の3分の1程度の売上。収束に6月頃までかかれば廃業も視野にいれなければならない」（宿泊業）

【三条地域の業況】

（※三条地域の詳細データにつきましては、当所ホームページをご参照ください。）

<http://www.sanjo-cci.or.jp>

当地域の全業種合計の業況DIは、H30年度第4四半期(2019年1~3月)比(以後 前年同期比という)では▲40(前期差14ポイント減)となった。業種別では、建設業が▲41(前期差35ポイント減)、製造業が▲29(前期差12ポイント減)、卸売業が▲42(前期差10ポイント増)、小売業が▲43(前期差13ポイント減)、サービス業が▲56(前期差26ポイント減)となった。前回調査に比べ、卸売業はDI値が回復したが、建設業、製造業、小売業、サービス業はDI値が減少で推移した。

三条地域の業種別概況

【建設業】

建設業では、前年同期比の業況DIは▲41(前期差35ポイント減)、採算DIは▲38(前期差23ポイント減)、売上額DIは▲18(前期差3ポイント減)、従業員DIは▲18(前期差3ポイント減)となり、業況DI、採算DI、売上額DI、従業員DIとも減少で推移した。

【製造業】

製造業では、前年同期比の業況DIは▲29(前期差12ポイント減)、採算DIは▲36(前期差18ポイント減)、売上額DIは▲31(前期差12ポイント減)、従業員DIは+6(前期差3ポイント増)となり、従業員DIは増加したが、業況DI、採算DI、売上額DIは減少で推移した。

【卸売業】

卸売業では、前年同期比の業況DIは▲42(前期差10ポイント増)、採算DIは▲30(前期差6ポイント増)、売上額DIは▲44(前期差10ポイント減)、従業員DIは+13(前期差11ポイント増)となり、業況DI、採算DI、従業員DIは増加したが、売上額DIは減少で推移した。

【小売業】

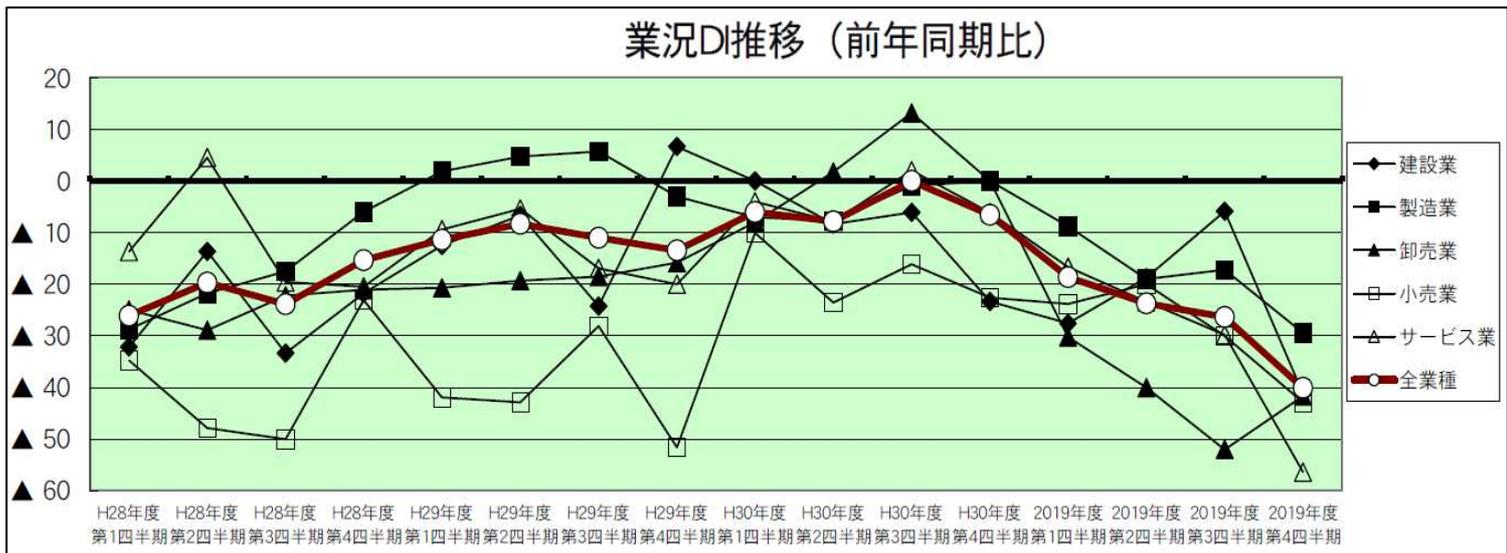
小売業では、前年同期比の業況DIは▲43(前期差13ポイント減)、採算DIは▲43(前期差33ポイント減)、売上額DIは▲54(前期差17ポイント減)、従業員DIは+8(前期差8ポイント増)となり、従業員DIは増加したが、業況DI、採算DI、売上額DIは減少で推移した。

【サービス業】

サービス業では、前年同期比の業況DIは▲56(前期差26ポイント減)、採算DIは▲49(前期差20ポイント減)、売上額DIは▲53(前期差22ポイント減)、従業員DIは▲22(前期差15ポイント減)となり、業況DI、採算DI、売上額DI、従業員DIとも減少で推移した。

三条地域の業況 DI(前年同期比)の推移 ※DI 値＝「良いとする回答割合」-「悪いとする回答割合」

	H28 年度				H29 年度			
	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期
全業種	▲ 26	▲ 20	▲ 24	▲ 15	▲ 11	▲ 8	▲ 11	▲ 13
建設業	▲ 32	▲ 14	▲ 33	▲ 22	▲ 13	▲ 7	▲ 24	7
製造業	▲ 29	▲ 22	▲ 18	▲ 6	2	5	6	▲ 3
卸売業	▲ 25	▲ 29	▲ 22	▲ 21	▲ 21	▲ 19	▲ 19	▲ 16
小売業	▲ 35	▲ 48	▲ 50	▲ 23	▲ 42	▲ 43	▲ 28	▲ 52
サービス業	▲ 14	5	▲ 20	▲ 20	▲ 9	▲ 5	▲ 17	▲ 20
	H30 年度				2019 年度			
	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期
全業種	▲ 6	▲ 8	0	▲ 7	▲ 19	▲ 24	▲ 26	▲ 40
建設業	0	▲ 8	▲ 6	▲ 23	▲ 28	▲ 19	▲ 6	▲ 41
製造業	▲ 7	▲ 8	▲ 1	0	▲ 9	▲ 19	▲ 17	▲ 29
卸売業	▲ 8	2	13	0	▲ 30	▲ 40	▲ 52	▲ 42
小売業	▲ 10	▲ 24	▲ 16	▲ 23	▲ 24	▲ 20	▲ 30	▲ 43
サービス業	▲ 4	▲ 8	2	▲ 6	▲ 17	▲ 23	▲ 30	▲ 56

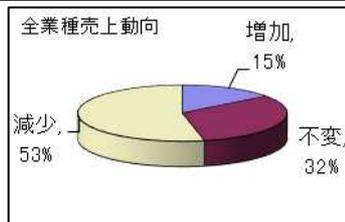


2019年度 第4四半期(2020年1月～3月)

※四捨五入の関係上百分率の合計が合わないことがあります。

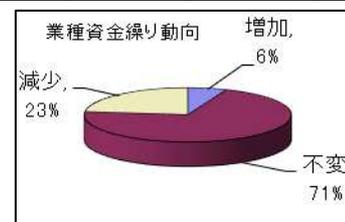
業種別売上動向 (前年同期比)

業種		増加	不変	減少
全業種	件数	39	85	142
	%	15%	32%	53%
建設業	件数	7	13	13
	%	21%	39%	39%
製造業	件数	16	38	48
	%	16%	37%	47%
卸売業	件数	6	15	27
	%	13%	31%	56%
小売業	件数	3	7	18
	%	11%	25%	64%
サービス業	件数	7	12	36
	%	13%	22%	65%



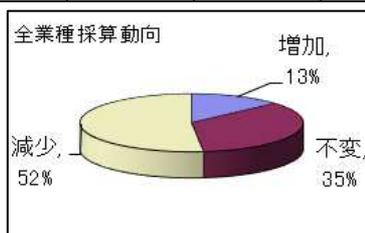
業種別資金繰り動向 (前年同期比)

業種		好転	不変	悪化
全業種	件数	16	186	61
	%	6%	71%	23%
建設業	件数	1	23	9
	%	3%	70%	27%
製造業	件数	5	78	19
	%	5%	76%	19%
卸売業	件数	2	37	9
	%	4%	77%	19%
小売業	件数	3	17	7
	%	11%	63%	26%
サービス業	件数	5	31	17
	%	9%	58%	32%



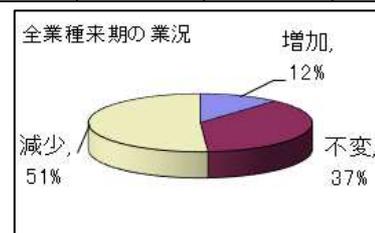
業種別採算動向 (前年同期比)

業種		良い	普通	悪い
全業種	件数	35	92	136
	%	13%	35%	52%
建設業	件数	4	13	17
	%	12%	38%	50%
製造業	件数	13	39	49
	%	13%	39%	49%
卸売業	件数	8	17	22
	%	17%	36%	47%
小売業	件数	3	10	15
	%	11%	36%	54%
サービス業	件数	7	13	33
	%	13%	25%	62%



業種別来期(2020.4～6月)の業況(今期比の見通し)

業種		良い	普通	悪い
全業種	件数	26	84	115
	%	12%	37%	51%
建設業	件数	3	10	16
	%	10%	34%	55%
製造業	件数	14	37	37
	%	16%	42%	42%
卸売業	件数	2	13	25
	%	5%	33%	63%
小売業	件数	2	8	9
	%	11%	42%	47%
サービス業	件数	5	16	28
	%	10%	33%	57%



日本商工会議所の全国の業況、三条地域の業況の詳細データにつきましては、当所ホームページをご参照ください。
<http://www.sanjo-cci.or.jp>